

理大祭グランプリ2011 入賞団体インタビュー

理大祭では毎年、それぞれの団体が特徴を生かした企画を行っている。今年も多く団体が理大祭に参加する予定だ。理大祭実行委員会が主催する「理大祭グランプリ」では、販売団体と非販売団体のそれぞれの企画の中で一番良かったと思うものを来場者に投票してもらい、人気のあった団体を決定する。グランプリは4万円の賞金を手にすることができるため、毎年多くの団体が優勝を狙っている。昨年の販売団体グランプリであったFelixと非販売団体準グランプリであった天文研究部は、いったいどのような工夫を凝らしていたのだろうか。そして今年はどういう企画を行うのだろうか。彼らの人気の秘訣を探るべく取材を行った。



一昨年から2年連続で販売団体グランプリ獲得を果たしているFelixは、学内に数あるテニスサークルの1つである。60人程の部員で構成されており、男女比がおおよそ7対3となっている。週に一回、大学付近のテニスコートを借りて活動し、適度に休息を挟みつつも自分のペースで練習する人やハードな練習をする人など、基本的に個人が自由に練習を行えるような練習環境が整えられている。また、11月には部内戦といったイベントもある。サークルとして大会に出場することはないが、個人の出場は認めており、規則はそれほど厳しくない。

毎年、Felixは理大祭でフライドポテトと飲み物の販売を行っている。昨年はポテトを200円という価格で提供していた。味は塩、コンソメ、のり塩、マジックソルトの4種類と味は豊富であり、この4種類のポテトが部員達による手作りだというのだから驚きである。最初のじゃがいもの皮を剥く作業からお客さんの手に渡るまで、すべてが手作業で行われている。また、目の前で揚げてくれるため、出来立てのポテトを食べることが出来る。さらに多くのお客さんに喜ばれるよう、今年味の種類を増やし、ポテトの値下げを考えているそうだ。



Felix

天文研究部は部員1000人程で、晴れたら星空を見るといったように「好きな事を好きなきときにやれる」をモットーに活動している。昨年は非販売団体準グランプリと悔しい結果だった天文研究部だが、今年どのように理大祭を盛り上げるのだろうか。今年5月21日、本州で実際に129年ぶりとなる金環日食が起こった。神楽坂では午前7時31分から第一接触が始まり、若干曇ってはいたが太陽と月が重なった事を確認できた。天文研究部では前日から学校に泊まり込みで準備をして、1号館屋上と9号館前で観測を行った。今年の理大祭では主にその観測写真や観測記録を展示する。日食について詳しく知りたい人は是非足を運んでみてほしい。

天文研究部の今年の理大祭のテーマは日食に因んで「食」であり、1年生主体の企画では宇宙食についての発表を行う。その他にも、昨年行われていた星野写真の展示や、2号館屋上での太陽観察も引き続き行う。また、今年も金環日食の他にも金星の太陽面通過など、天体に関するイベントが多数あった。天文研究部はその度に望遠鏡やカメラを持ち出し、観測を行っていた。それらを撮影した写真は、都会では見ることのできない神秘的な夜空の美しさを感じさせるだろう。



天文研究部

神楽坂にいながら見ることのできる金環日食を始め、今年も貴重な天体現象が多く、非常に充実した展示内容となっている。天文研究部は今年もグランプリ候補として理大祭を盛り上げてくれるだろう。

2012 Main Event *

- 23rd
 - ◎ 志田未来トークショー 5号館地下体育館 12:30~14:30
 - ◎ Mr.Rikadai Contest 2012 5号館地下体育館 16:30~18:30
- 24th
 - ◎ 第4回ニソコンmini 8号館1F&2F 10:30~16:30
 - ◎ Miss Rikadai Contest 2012 5号館地下体育館 13:00~15:30
- 25th
 - ◎ サイエンス夢工房 8号館1F&2F 10:00~17:00
 - ◎ 公開収録(リカラジ) 2号館212教室 11:00~12:40

理大祭グランプリ2011 結果

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 販売団体 | 非販売団体 |
| 1 Felix | 1 QMA 研究会 |
| ◎ 赤十字奉仕団 CoCoLo | ◎ 天文研究部 |
| ◎ I部体育局アイスホッケー部 | ◎ II部同好会ゲームサークル ポレトレ |